

北小ものがたり

竜王北小学校
研究通信 &
学校だより



令和元年9月11日

運動会の練習が始まりました

2学期が始まってから、早くも2週間が過ぎました。台風が来たり、厳しい暑さの日があったりしていますが、子どもたちは実に元気に過ごしています。ご家庭での日頃の体調管理のお陰と、深く感謝しているところです。

さて、昨日から、運動会特別日課による練習が始まりました。28日の運動会当日まで、ご家庭にも多大なるご協力をいただくことになると思います。お手数をおかけして申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

今年も、残暑が厳しいことが予想されています。学校では熱中症対策として、以下のことを実施しております。

- 気温 35℃以上か、WBGT 値 31℃以上になったら、運動を控えるようにする。(※1)
- 日陰での休憩と給水時間を確保する。
- 帽子の着用を徹底する。
- 見学児童の待機場所を確保する。

また、昨年度より全校練習を1校時(※2)に行っています。ご承知おき願います。

※1 夏休み中のプール開放のときは、予測値を元に前日に実施の可否を決めていましたが、授業時間のことですので、その時々の実測値により判断いたします。本校百葉箱内の寒暖計と、運動を行う場所近くに設置する簡易 WBGT 計を判断基準にします。

※2 通常は 8:50~9:35 ですが、特別日課中は、**8:45~9:30** と5分前倒しします。2校時からは、通常どおりに戻ります。(2校時は 9:40~10:25, …以下略)

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生児童が実施した『全国学力・学習状況調査』についての結果が届き、本校としての分析をまとめました。6年生の児童には、それぞれの結果を個票にして配布してあります。全校の保護者の皆様には、裏面(または本校HP)をご覧ください、本校の傾向をご確認いただきたく存じます。

教育実習生が来ています

一昨日(9月9日)から4週間(10月4日まで)、教育実習生を迎えることになりました。

本校の卒業生でもある、穴水 咲(あなみず さき)さんです。穴水さんは、小学校教員を目指している大学3年生です。

1年3組に配置いたしましたが、運動会の練習や準備もあるので、1年生全体や、全校の児童とも関わることもあるかもしれません。よろしくお願いいたします。

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・(数学)／(英語)に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに、その平均正答率は、全国と同程度であり、どの領域も一定の定着がみられます。
- ・国語の領域別では、特に「読むこと」について全国平均を上回り、目的に応じて、文章の内容を的確に読み取ることなど、日頃からの読書活動の取組の成果がみられます。一方で「書くこと」については、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように工夫して書くことに課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は、全国を上回り、基礎的な学力が定着しています。「数と計算」について、棒グラフを読み取って何倍であるかを求めたり、示された計算の仕方を理解し除法を用いて計算したりする問題において、全国平均を上回りました。しかし、「量と測定」について、図形の面積を求める式の意味を説明する問題に課題が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「学校に行くのは楽しい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」「毎日30分以上読書をしている」等について高い数値を示しています。特に週あたりの図書館利用の頻度については、全国値を大きく上回っています。
- ・課題となる項目
全国と同様に「自分には、よいところがある」と自信をもって回答した児童の割合が、他の項目に比べて低いです。「学校のきまりをどちらかというところと守っていない」「守っていない」とした児童が若干いることも課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ルールやマナーを守ることの大切さを、道徳や学級活動の時間を中心にして、引き続き指導していきます。できるように促し、できたことをほめ、児童のよさのみとりに努めることで、一人一人の児童の自尊感情を涵養していきます。
- ・「書くこと」の学習では、校内研究の成果を生かしながら、授業の終わりにわかったことや思ったことを書く時間を設けて、書くことへの抵抗感をなくしていきます。
- ・学習内容の確実な理解と定着が図れるように、ドリル学習に加えて、友達と話し合ったり自分に問い続けたりしていく対話的で深い学びの授業改善に努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「自分は家族のために役立っている」と感じられるように、役割を与えてできたことをほめてあげてください。また頑張っていることを見つけて認めてあげてください。
- ・児童が落ち着いて学習に取り組めるように、配付してある学校生活のきまりや学習道具のきまりに再度目を通していただき、きまりを守れるように声をかけてあげてください。
- ・今以上に読書好きになるように、家族そろって家読の時間をもつようにしてください。